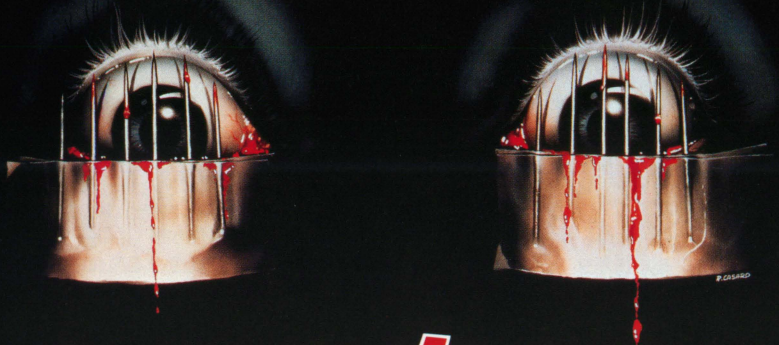




(サスペリア)(フェノミナ)
ビジュアル・ホラーの巨匠……

ダリオ・アルジェント監督作品



オペラ座血の喝采

脚本・監督 ダリオ・アルジェント 「オペラ座 血の喝采」 クリスチーナ・マルシラチ イアン・チャールソン ウルバノ・バルベリーニ ウィリアム・マクナマラ
アントネッラ・ピターレ パーバラ・クビステイ コラリーナ・カタルディ・タッソーニ タリア・ニコロディ 監修 ロニー・テイラー B.S.O.
音楽 ダリオ・アルジェント 脚本 チェック・コーリ・グループ・タイガー映画会社 +RAI

監督 ダリオ・アルジェント ORION PICTURES PRESENTS
華麗にそして残酷に **Terror at the OPERA** 流血のオペラが開幕する…



第4回東京国際ファンタスティック映画祭・絶叫の2大作



(ゾンビ)(死霊のえじき)
モダン・ホラーの巨匠……

ジョージ・A・ロメロ監督作品



MONKEY SHINES

モンキー・シャイン

身動きできない、信じられない、戦慄が背中を駆けぬげる…

チャールズ・エバンス・プロダクション ジョージ・A・ロメロ 監修 「モンキー・シャイン」
ジェーン・ベギー ジョン・バンコウ ケイト・マクニール ジョイス・バン・バタン 監修 デビッド・シャイア
脚本・監督 ビーター・マッキントッシュ 監修 クリトス・アンダーソン 監修 パスカーレ・プーバ
監修 ジェームズ・A・コントナー 監修 マイケル・スチュワード 「モンキー・シャイン」
脚本・監督 ビーター・グレンワルド 監修 ジェラルド・バオネッサ 監修 チャールズ・エバンス
監修 監製 ジョージ・A・ロメロ ORION PICTURES PRESENTS

解説ストーリー

秀才でスポーツ万能のアランは、ある日交通事故にあい半身不随の身になる。愛情過多でうっとおしい母親、担当医と関係を結んでしまう恋人リンダ。アランのイライラはつづり、自殺未遂を引き起す。

そんな中で、脳科学研究所に勤務する友人のジェフリーは実験用のサルをアランにプレゼントする。彼は人間の脳細胞のエキスで、サルの知能を高める研究を続けていたのだ。サルはエラと名づけられ、訓練士のメラニーとともにアランの生活上のパートナーとなる。電話をかける、窓ガラスをぶく、人間以上のサルだった。

平穏な生活がよみがえったかにみえたが、不吉な変化が徐々にアランに忍び寄る。おかしな夢を見るようになり、怒りっぽくなったアラン。看護婦といさかいを起こし、彼女とオウムを心より憎んだ。……翌朝、オウムが死んでいた。数日後、こんどはアランを裏切ったリンダと医師が焼死する。アランが夢で見たとおりのことが起こったのだ。エラの恐ろしい能力！ エラはアランが望んだことを感知し、それを実行に移すだけでなく、彼の憎しみ、怒りなど動物的な感情を過剰に誘発し、増幅させるのだった。やがて、母親、そしてアランの新しい恋人となったメラニーにエラは反感を抱き始める。

ある種の実験で知能の向上がみられたサルを、訓練によって病人の世話に役立てる——アメリカの一部医療機関で実際に試みられている驚異の医療行為のデータに基づいて書かれたマイケル・スチュワートのベストセラー小説「Monkey Shines-An Experiment in Fear」の映画化。

製作は「トッツィー」のチャールズ・エバンス。撮影は「ハリイ奪環」のジェームズ・A・コントナー、音楽は「オズ」のデビッド・シャリアが担当している。特殊メイクはロメロ作品には欠かせないトム・サビーニだ。ロメロ初のサイコ・ホラー。



ジョージ・A・ロメロ

ホラー映画史上に名高い「ゾンビ3部作」でグロテスク・ファンタジーの世界を確立したジョージ・A・ロメロ。ニューヨーク・ブロンクス生まれ。カーネギー工科大学で演劇に熱中。卒業後、TV-CFの制作を経て、68年、長編第1作「ナイト・オブ・ザ・リビング・デッド」を発表。77年「ゾンビ」、85年「死霊のえじき」でゾンビ・シリーズ3部作を完成し、モダン・ホラーという新しいジャンルを確立した。

スタッフ

監督・脚本 ジョージ・A・ロメロ
原作 マイケル・スチュワート
「モンキー・シャイン」(早川文庫NV)
撮影 ジェームズ・A・コントナー
美術 クリスト・アンダーソン
編集 バスカー・レ・ブーバ
音楽 デビッド・シャリア
製作 チャールズ・エバンス
共同製作 ビーター・マッキントッシュ
製作総指揮 ビーター・グレンワルド
ジェラルド・ハオネッサ

キャスト

ジェーン・ペギー (アラン・マン)
ジョン・バンコウ (ジェフリー・フィッシャー)
ケイト・マクニール (メラニー・バーカー)
サル(ブー) (エラ)

上映時間1時間55分 カラー35mm ビスタサイズ
1988年 オライオン作品

解説ストーリー

ヨーロッパ・オペラ界で起きた恐るべき事件。ミステリーとサスペンスが奇怪に渦巻くダリオ・アルジェント監督の傑作ビジュアル・ホラー、「オペラ座／血の喝采」がいまその幕を開ける！

ベルティのオペラ「マクベス」には、不幸を招くという迷信がある。が、そんな噂をもとめせず、ミラノスカラ座定期公演のプレミアであえて「マクベス」に挑んだ前衛派演出家のマークは、舞台にカラスを使ったシュールな演出でオペラ・ファンの度肝を抜いた。

ところが本稽古の最中、ソプラノ歌手のマール・チェコバが突然オペラハウスの外に飛び出し、車にひかれてしまう。マールの代役となったベティは、若く経験が浅いにもかかわらず、堂々と「マクベス」を歌いあげる。

しかし、「マクベス」がクライマックスにさしかかったとき事件が起きた。照明係がフックで首を刺し貫かれて殺されたのである。事件は続く。終演後の

オペラ座、ベティの楽屋に怪しい人影が侵入する。ナイフで華やかな舞台衣裳を切りさき、さらに異変を感じて飛んできたカラスの首を切り落としていく。

そして、成功の喜びを分かちあうベティと恋人ステファノの寝室にも、人影は忍び寄せた。ステファノが部屋を出た隙に、怪しい手がベティの口を塞ぐ。打ち消される叫び。柱に縛り付けられ、目の下に針を張り付けられるベティ。何も知らずに戻ってきたステファノにナイフが振り下ろされる。まばたきをすれば針が目に突き刺さるので、目を閉じることのできないベティ。その前で恋人がなぶり殺されていく。……以前どこかで同じ体験をしたという「デジャブ」をベティは感じ始めていた。

撮影は、「ガンジー」で年アカデミー賞撮影賞を授賞したロニー・テイラー。音楽監督はブライアン・イーノ。ベルティのオペラの調べにローリング・ストーンズのロックを調和させる大胆な試みを成功させている。ミック・ジャガーがテーマ曲を歌っている。



ダリオ・アルジェント

デビュー以来、「残酷恐怖美学」の旗手として、新次元のスリラー・サスペンスをめざしてきたダリオ・アルジェント。

1940年9月生まれ。幼い頃から映画に興味を持つ。ベルナルド・ベルトルッチと共同で、セルジオ・レオーネの「ウエスタン」の原案を書いて認められる。69年「飲むの毒牙」で監督デビュー、以後「サスペリア」「シャドー」「フェノミナ」など話題作を次々と世に送りだしている。

スタッフ

製作・監督 ダリオ・アルジェント
脚本 ダリオ・アルジェント
フランコ・フェリーニ
撮影 ロニー・テイラー
音楽 ブライアン・イーノ
製作総指揮 フェルディナンド・カブート

キャスト

イアン・チャールソン (マーク)
クリスチーナ・マルシラチ (ベティ)
ウルバノ・バルベリーニ (アラン)
ダリア・ニコロディ (ミラ)
コラリーナ・カタルディ・タッソニ (ジュリア)
ウィリアム・マクナマラ (ステファノ)
アントネッラ・ビタルー (マリオン)
フランチェスカ・カッソーラ (アルマ)

上映時間1時間37分 カラー35mm シネスコ 1988年 オライオン作品

肩11日(祝)ロードショー

特別鑑賞券発売中!!
(一般1200円/学生1100円)

地下鉄・東銀座下車

松竹セントラル1 (541) 2714

上映時間

連日	オペラ座血の喝采	11:15	3:20	7:25
	モンキー・シャイン	1:05	5:10	